

筑波経済月報 No.112 2022.11

■ 企業探訪

地元ならではの地域情報と安心を提供し続けるケーブルテレビ

株式会社JWAY

■ 支店長のわがまち紹介

ウィズコロナ時代に即した施策と昼間人口の創出

坂東市

■ 研究員レポート

第76回「茨城県内企業経営動向調査」(2022年9月調査)

コスト上昇と価格転嫁に関するアンケート調査

筑波総研 株式会社



坂東市将門まつり

令和4年11月13日(日) 午前10時から午後4時



平将門公を祭神とする國王神社



國王神社で行われる戦勝祈願



鎧兜姿の勇壮な「平将門公」が歩行者天国を練り歩く



将門まつりに華を添える「君の御前」

(写真提供/坂東市)

坂東市の郷土の英雄「平将門公」は、今から1,000有余年前、関八州を手中に収め、自らを「新皇」と称しました。天慶3(940)年2月、将門公は坂東市岩井の北山の戦いで、藤原秀郷、平貞盛らの連合軍に敗れます(天慶の乱)。短い生涯を民衆とともに生きた将門公を、当時の政府は反逆者としました。しかし、各地に残された将門公の史跡を守ってきた先人たちの活動、歴史研究の進歩などによって将門公の評価は見直され、NHK大河ドラマ「風と雲と虹と」の放映もあいまって、坂東市は平安の郷として知られるようになりました。

坂東市将門まつりは、将門公の勇姿を現代によみがえらせようと、昭和47(1972)年4月の旧岩井市市政施行を記念して始まり、毎年11月第2日曜日に開催されます。坂東市の秋を彩る風物詩として定着し、市内外の多くの皆様に親しまれています。

まつりは、将門公終焉の地である國王神社(茨城県指定文化財)での戦勝祈願から始まります。境内に勇壮な「神田明神将門太鼓」が鳴り響く杉木立の中を武者が進み参詣が行われます。出陣式では、中高生などによる弓道模範演武が披露され、総勢100人もの行列は、鎧兜姿の勇壮な武者や雅やかな姫が歩行者天国を練り歩き、その後を神田ばやし(県指定無形民俗文化財)のお囃子が続きます。さらに、今年も、相馬野馬追(国指定重要無形民俗文化財)の騎馬隊が特別参加する予定です。

まつりの最後には、メインステージ会場において神田ばやしの山車が競演し、さらに、岩井将門太鼓と神田明神将門太鼓が加わり、クライマックスに達します。

この秋、坂東市で、現代によみがえった将門公の勇姿を見ながら、平安の昔に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

《Information》

- ◆所在地
國王神社
坂東市岩井商店街歩行者天国
- ◆アクセス方法
電車 つくばエクスプレス守谷駅からバスで約40分
東武アーバンパークライン愛宕駅からバスで約30分
車 常磐自動車道谷和原ICから約25分
圏央道坂東ICから約10分
- ◆駐車場
まつり専用駐車場あり
- ◆お問い合わせ
茨城県坂東市観光協会
☎ 0297-20-8666

(写真提供/坂東市)